

RCE ひょうご-神戸
(ESD推進ネット兵庫神戸)
2018年の取り組み

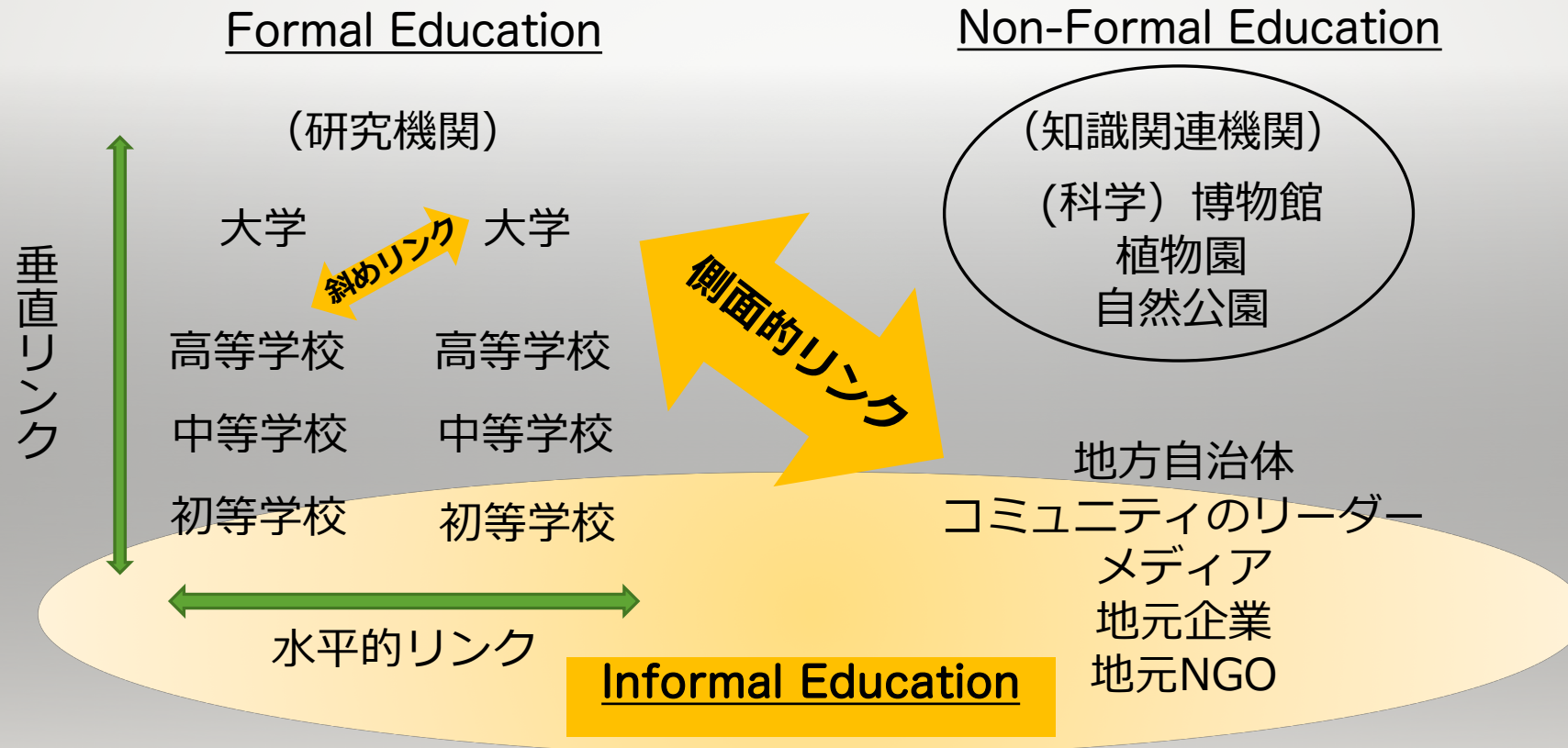
2016年の課題をふりかえって

- 定期的な運営委員会の開催
- マルチステークホルダーの活性化
- ESDスタディツアーの活発化
 - フォーマル教育との連携
 - ESDカフェ開催を通じた、受入れ団体と参加者の満足度の向上
 - スタディツアープログラム提供団体の多様化

2016年の課題をふりかえって

- 定期的な運営委員会の開催 ○
拡大運営委員会、運営委員会、各種分科会
- マルチステークホルダーの活性化 △
新規会員の加入（現在80名余り）、各種事業の実施
- ESDスタディツアーの活発化 △
 - フォーマル教育との連携 ◎
 - ESDカフェ開催を通じた、受入れ団体と参加者の満足度の向上 ×
 - スタディツアープログラム提供団体の多様化 △

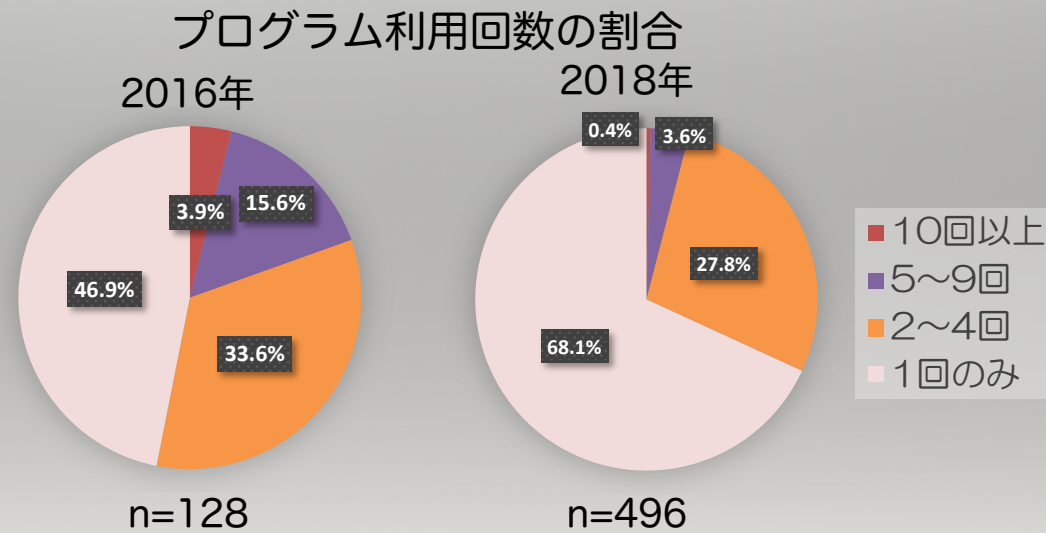
4 RCEに求められるネットワーク構造



5 ESDスタディーツアープログラム

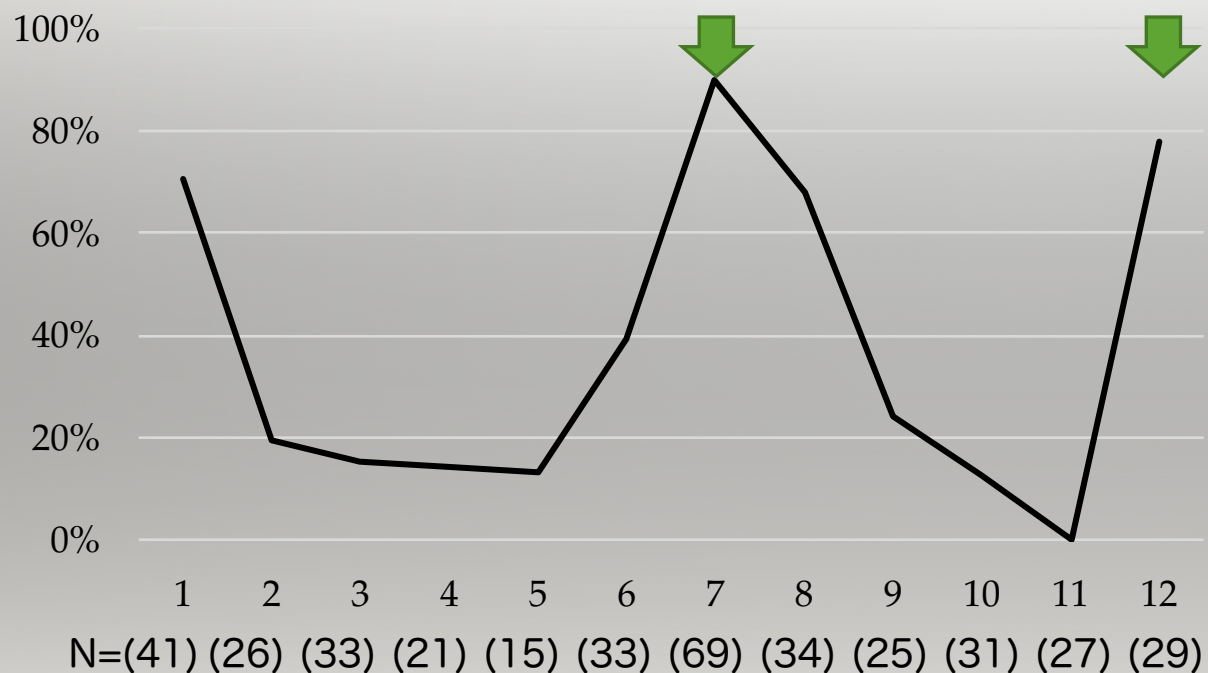


- フォーマル教育との連携
- 496人が利用（のべ804人）
- 半分以上が1回のみの利用、最大は12回/人



6 ESDスタディーツアープログラムの展望と課題

掲載イベント数に対する参加申し込み有の割合

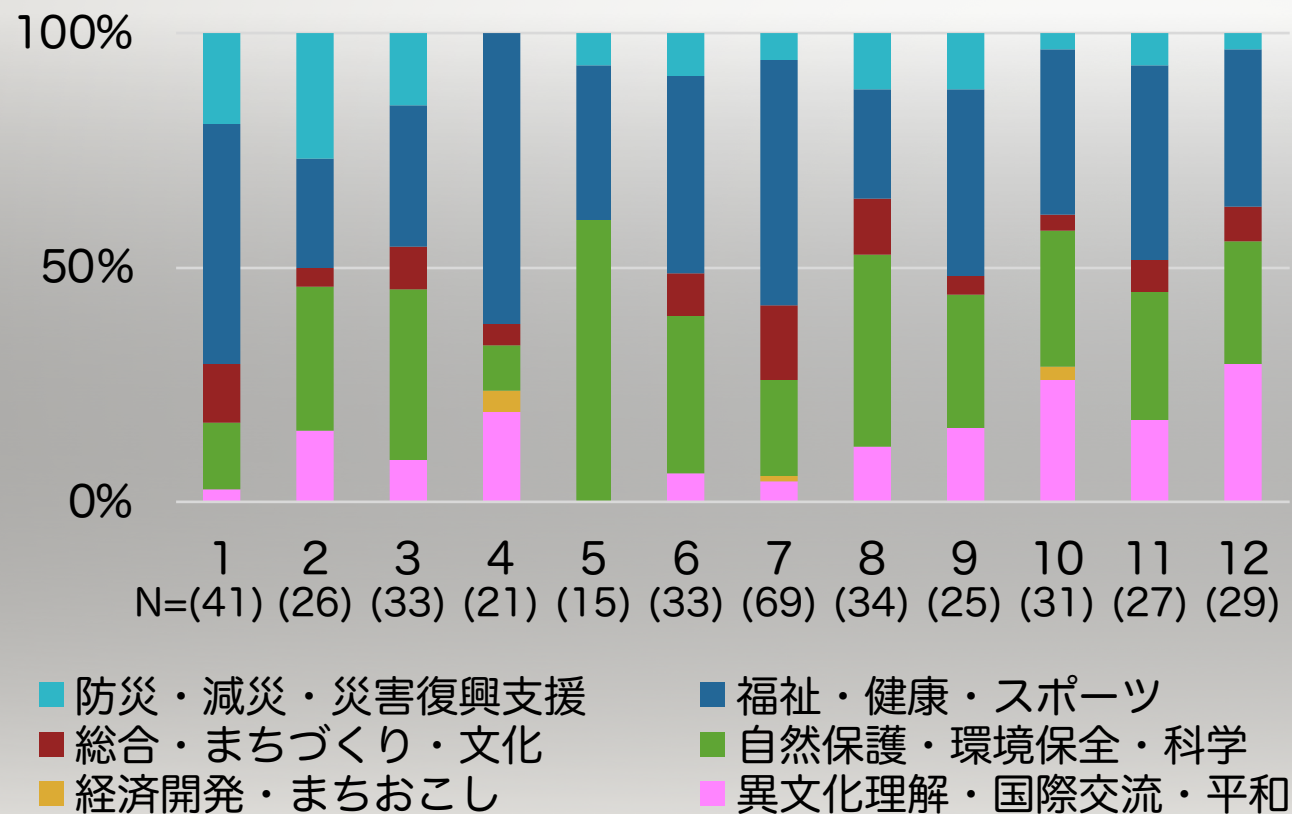


- 45団体が、計384のイベントを掲載
- フォーマル教育と連動していない時期の参加推進
→ESDプラットフォームの設立
- 非繁忙期の団体のモチベーション維持

7

ESDスタディーツアープログラムの展望と課題2

分野ごとのイベント登録割合の月別推移



- 参加学生から伺える満足度の高さ
「もっと色々な人に利用してほしい」
- 各月、登録されているイベントに分野の偏りがある
→少しずつイベント提供団体を増やす
- 各分野も、イベントを提供する団体に偏りがある（そのメインの団体が倒れると回らなくなる）

8 | 第3回ESD実践研究集会「大研究！SDGs」の開催

- インフォーマル教育の取り組みとして
 - 1日目 (9/29)
基調講演、グループディスカッション&全体討議
ポスターセッション、ESDカフェ
 - 2日目 (9/30)
「SDGsは、だれが、どこで、どうやって進めるの？」
3つの分科会に分かれて議論
 - 総合シンポジウム (10/9)
「ESDとSDGsの関係を問う」
- 2日間でのべ150人の参加



9 | ESD修学旅行の受け入れ

- 宮城県東北学院高校の生徒347名
(教員17名、JTB5名)
- 午前：フィールドワーク
8つのコース、19団体に分散
- 午後：総合リフレクション
@神戸大学体育館
ファシリテーターは70名



10 | ESDカフェの開催

学生らの主体的な運営を応援しながら

- 1回目（7/28）33名「水-SDGsを意識して」
神戸大学+甲南女子大学ほか
- 2回目（9/29）67名「SDGsビンゴほか」
ESD実践研究集会のなかで開催
- 3回目（1/22）34名「ESD日本一周ゲーム
（ESD演習の学生らの模擬）、ESDagram
（ハッシュタグを使ってESDを発信）」



11 今後の展望と課題

- インフォーマル教育としてのESDの実践
 - マルチステークホルダーが“ESD”について考える場づくり
- フォーマル教育との連携強化
 - ESDに関心をもつ層の実践活動へのリクルート
- 資金的なこと（事務局体制、海外への渡航費用など）
- ESD活動支援センターとの関わり
 - ESD活動拠点への登録など